



☆茨城県の教育目標☆
一人一人の能力を開発し
豊かな人間性を養う
・ じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
・ 郷土を愛し 協力しあう
心を育てる

☆輝翔学園の教育目標☆
互いに協働することを通して、主体的な学びを実現する
児童生徒の育成
コミュニケーション力・協働(コラボレーション)力・
表現(プレゼンテーション)力の育成

☆つくば市の教育目標☆
みんなが幸せを実感できる
学園・学校
・ 教えから学びへ
・ 管理から自己決定へ
・ 認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

☆本校教育の目標☆
広い視野と豊かな感性をもち
たくましく生きる児童の育成

めざす児童の姿

めざす教師の姿

や・ ・ 優しい心をもち、優しさを広げる
ぎ・ ・ 疑問をもち、解決方法を考える
は・ ・ 話 周りの人の話をよく聞き、
自分の考えを話す
し・ ・ 自分を大切にする
自信をもって自分のよさを伸ばす

・ 元気で、自分と周りの人の幸せを追求している(し)
・ 子どもに寄り添い、子どものよさと探究心を伸ばそうとする(や)(ぎ)(は)(し)
・ 温かい心をもち、居心地のよい職場と学校をつくらうとする(や)(は)
・ 組織のために仲間と協働し、お互いのよさを認め、伸ばそうとする(ぎ)(は)(し)
・ 自分のよさと専門性を追究し、挑戦している(ぎ)(し)

◆組織目標◆

- 1 問いを立て、協働と自己決定をしながら、自己理解・探究を深める児童の育成
- 2 さまざまな人とつながり、よさを認め合い、所属感や満足感を味わうことができる集団の育成

学校経営の重点

- 1 自他のよさを認め合うことができる学級・ブロック・異学年集団づくり
 - ・ 温かい人間関係づくり・よさを認め合う気持ち、自己有用感の醸成
 - ・ 友達の考えを聞き、発言をつなぐ児童同士の**ファシリテート力**の育成
 - ・ **非認知能力の育成**
モジュールを活用した**自分を見つめる時間・なりたい自分を描く時間(自己調整時間・自己決定時間)**の設定
 - ・ 縦割り班や委員会、学級で行う児童主体企画活動、リーダー経験、自己決定の実践
- 2 児童の「問い」からスタートする探究学習・体験学習・協働学習の推進
 - ・ **児童から生まれる問い**の解決となる授業づくり、協働で作る指導案での一人一研究授業
 - ・ 異学年の対話を重視した共同学習の実施(つくばスタイル科・生活科の「柳橋プラン」「よさ伸ばし時間」)
 - ・ 知識・技能定着と問いの追究、自己調整、自己形成のためのモジュール時間の活用
 - ・ 教師の**ファシリテート力**の向上(ファシリテートする授業をつくる深い教材研究)
 - ・ 協働場面で深い理解につながる ICT 活用の研究
 - ・ **児童発信**の地域人材・専門家の助言、様々な体験活動、出前授業
 - ・ **いつも読みかけの本**を持つ読書指導と家庭学習の個別化
- 3 安全安心な学校づくり
 - 安全な生活基盤の構築(いじめ・不登校防止のための取組の推進)
 - ・ 定期的なアンケートと教育相談、**職員の情報共有による早期の組織的な対応、SOS のだせる環境**
 - ・ 児童主体の「いじめゼロ集会」と継続的な学級・集団での指導
 - 健康・安全に関する自己管理能力・危機回避能力の育成
毎日の下校集会での安全啓発・計画的な避難訓練、防災教育・養護教諭・栄養教諭による計画的な保健指導・食の指導、外遊びの奨励・体育授業の工夫による体力の向上
- 4 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
 - ・ 研修の実施による共通理解(ユニバーサル・デザインの授業と合理的配慮の充実)
 - ・ **チームによる計画的・組織的・継続的支援**
(県や市の関係諸機関、SC、SSW・保健室・Sルーム・わくわくゆったりルーム等との連携)

合言葉は、やぎはし

◆研究テーマ◆
主体的に学び、「なぜ」を解決し、
対話を通して探究する児童の育成

☆小中一貫・YMK(P)の推進
・ ねらいを定めた児童の小中、
小小交流・職員の研修交流
・ 輝翔学園リーダー研修会
・ 幼児教育との接続の強化(教師・児童の交流)

☆地域・社会とのつながり
・ 地域PTAとの信頼関係の維持構築
・ コミュニティスクール推進委員会の
立ち上げ、活動の充実
・ 柳橋ボランティアの拡充
・ 各種通信・HP等による情報発信

☆教員の資質向上と働き方改革の推進
・ OJTによる組織的体制
・ 職員のよさを広め、焦点を絞った必要感のある校内研修の工夫
・ 学校組織マネジメントによる教材研究時間の確保